

祝! 三谷麗奈選手銀賞!



日本のエスティクの実力を世界大会で見事に発信

エスティク業界の未来を明るく照らすニュースが届きました。

今夏ブラジル・サンパウロ市で開催された「第43回技能五輪国際大会」のビューティーセラピー職種において、三谷麗奈さんが世界第2位に入賞し、見事銀メダルを獲得しました。

大会は8月11～15日の4日間に渡って開かれ、50か国の約1,200人の若者が世界中から集まり、50種目にも及ぶ技能を競い合いました。エスティクとネイル、メイクの技能を主とするビューティーセラピー職種としては、過去最高位が8位ということからも、三谷さんが今回の受賞でどれだけの高さを成し遂げたかが伺えます。

今回は世界通りすぐりの若者たちが繰り広げた、白熱の大会の様子をレポートいたします。



開会式

Opening Ceremony

2015.8.11 tue

ブラジルでは国をあげての開催となった今大会。国内では連日ニュースで常に取り上げられるほどでした。それがあふる意味裏目に出たのか、開会式会場となったサンパウロ市内、イピラバエラ体育館周辺近くでも大規模なデモがあり、開演時間が大幅に遅れるなどのハプニングに見舞われたものの、開会式全体はサンバのリズムが響きわたる、ダンサーたちが舞い踊るブラジルらしい大変華やかなものとなりました。

を開けました。

大会史上最多となった出場選手団の入場では、各国のユニフォームに身を包んだ若者たちが団旗を振りながら、決意を明るくアピール。日本の選手団も腕を組んだり肩車をしたり、他国に負けない漢面の笑顔で元気に入場しました。開催国であるブラジル選手団が最後に入場し、大きな歓声と拍手に包まれた後、開催機関(WSC)のプレジデントサイモン・パトリック氏が開

会を宣言、「若者らしいフェアな競技精神を持ち、人生のスタートとなる記念すべき大会に」とのメッセージを送り、4日間の「匠の若者たち」が腕を競う大会が幕

を閉じました。技能五輪国際大会は、正式には国際技能競技大会(WORLD SKILLS COMPETITION)と呼ばれています。日本代表選手団の選考は、国際大会が開催される前年に開催する技能五輪全国大会において行われ、一部職種を除き、大会開催時に22歳以下であるという参加資格を満たす優勝者が、日本代表として選出されます。

大会の目的は、「参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ること」とあります。大会の目的は、「参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ること」とあります。国際交流の場としても定められています。そのような背景もあって、開会式前には一國一校プロジェクトと題し、日本の選手団もブラジルの市内の小学校を訪問し、文化交流を深めるなど、競技前から様々な活動を行いました。三谷さんを含む選手たちは、その合間に寝る間を惜しみ、課題の最終チェックにうちこむなど、開催前から連日忙しいうスケジュールをこなしていたそうです。出場選手の多くは開会式では惜しみない歓迎の意を奏しみなながらも、意識ははっきりと明日からの本番の方へ向けられていたようです。

を閉じました。

を閉じました。

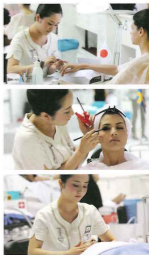
を閉じました。



大会1日目

Day 1

2015.8.12 wed



いよいよ大会当日。会場はアニョンピ・エキシビションセンターで行われました。ビューティーセラピー職種では25人の選手が4つのグループに分けられます。

午前 上級フェイシャル
午後 イフニングメイク
フレンチネイル

午前中の上級フェイシャルでは、電気機器を用いたフェイシャル、眉毛とまつ毛のデザイン、眉毛のツイーキングの項目を3時間の制限時間で終えていきます。日本代表の三谷さんは、ケープルトラブルがありながらも比較的自信があった項目だけあって、時間内に無事終了。

午後はイフニングメイクとフレンチネイル。三谷さんのスペースに強い夕日が差し込んでしまい、アイシャドウの細かなグラデーションのアドバイスが上手くできないと判断。あえてナチュラルメイクによるアレンジし機転を利かせるなど、こちらも無事時間内に終えました。初日の滑り出しは上々の様子でした。

大会2日目

Day 2

2015.8.13 thu

午前 スパボディ
午後 マニキュア
ペディキュア

2日目はスパボディで始まりました。別グループで初日にスパボディに挑んだ選手たちがごとごとと制限時間内に終わらず、大会の項目の中でも最大の難関と言っても過言ではなさそう

です。エクスプレッスフェイシャル・足浴、ボディークレンジング、エクスフォリエーション、マツキージ、マスクなど盛り沢山の内容で、観覧席からわかるほど三谷さんもかなり苦戦していました。

午後はマニキュア、ペディキュアへ。ロス時間を減らすためにあえて組んでいた方法に行き違いがあつたり、モデルさんが乾いていない状態のネイルで用意に動いたことで剥がれてしまったりなど、初日に比べても減点対象になる箇所が多く見受けられたのが残念でした。

終了後、三谷さんはトリーナーとメンタルを修正。後半戦へ気持ちを新たにしていました。



大会3日目

Day 3

2015.8.14 fri

午前 ロミロミスタイル
のマサージ

3日目はロミロミスタイルのマサージ、1.5時間という時間配分で細かな項目を落とさないうように戦わなければなりません。三谷さんは前日のメンタル調整が古と出たのか、落ち着いてスムーズに行っていました。



ただ選手たちの疲労はビータにさしかかかってきているだけに、思わぬところでミスをしてしまう人も多く、三谷さんも全体的にそうなくこなしていました。細かい箇所を忘れるなどのミスをしてしまったようです。それでも、審判員が通りかかった時にはアピールを打つなど、気持ちの上では余裕も見られ、戦い方のコツのようなものまでも預んできていました。

ロミロミの手法は各国によって少しづつがみられ、それが審判員の基準でどう判断されポイントにつながるかが、勝敗の分水嶺となりました。

大会4日目

Day 4

2015.8.15 sat

ファンタジーメイク &
ネイルアート

いよいよ最終日。ファンタジーメイクとネイルアートを4チーム全ての選手で同時に戦います。休憩を挟みながらも全体で4時間という長丁場でありハードななか、アリオのカーニバル

ル」というテーマを各国それぞれで表現していき、選手それぞれが最後の力を振り絞り集中して戦っていたのが印象的でした。三谷選手もこちらの項目は日本でも多くの練習を重ねてきただけあって、パフォーマタに近い状態で練習通りに再現できていたようです。

観戦時間が近づくにつれ、会場を漂っていた緊張感に変化があり、審判団の中にもお祭りムードが漂い、中には踊り始める人などもでてきたほど。全ての選手が競技を終え、各国のモデルたちが並ぶ姿は壮観で、どれも甲乙つけがたいほどの美しい作品に仕上がっていました。





Pick Up!

上位3カ国の顔ぶれ

- 1位 英国
- 2位 日本・韓国
- 3位 スウェーデン

point 繊細な感性と技術で
大胆なアレンジメイク

「KAWAII」はもはや世界共通語です。ただ「大人の女性の美的感覚」としては幼すぎることがあります。今回三谷さんはその世界との「ずれ」を上手く練習と技術で調整し、メイクの項目で常に高得点をあげていました。日本は過去メイク関連の競技で苦戦していた点からも、今回の重要な大きなプラス要素になったのはまちがいありません。「世界視野の美」を常に意識することは金賞への近道といえるでしょう。

表彰式

Closing Ceremony

2015.8.16 sun

最終日の表彰式。会場の真面にまずは入賞した国が発表され、呼ばれた選手のみがステージに集まり、さらにその中から上位を発表していく方式でした。ビュートイセラビー職種の番となり、日本が2位に入賞と発表された時は、三

谷選手は20歳の若者らしいはちきれんばかりの笑顔を見せ、関係者たちも歓喜の渦に包まれました。ビュートイセラビー部門の1位は英国、2位は日本と韓国が並び、続く3位はスウェーデンという結果に、「三谷さんは歴代最高位という素晴らしい成績で、日本の若い世代が担うエステティックの技術の高さを証明した形となりました。またその他の日本選手団も「自転車板金」や「移動式ロボット」などで金メダル6個、銀メダル3個、銅メダル5個で合計メダル数は13個という好成績を収め、4日間に渡る熱戦の幕を閉じました。

BEAUTY THERAPY

Gold		Alena
Silver		Rena
Silver		Un So
Bronze		Emme



三谷選手 インタビュー

Rena Mitani
Interview



—— まずは受賞おめでとう
うございます。今、改めてど
んなお気持ちですか？

三谷 ありがとうございます。本
当に今まで支えてくださ
ったトレーナーやエキス
パートの方々のおかげだと感
謝しています。約2年間この
大会に向けて頑張ってきたの
で、今ははっとしています。

—— 今回一番嬉しかった
競技はどこでしたか？

三谷 2日目のスパボダイ
です。元々、私はこの日が一
番大変だろうと思っていた
ので、前日にすごく準備しま
した。日本ではココットなど
の必要な商品は、良質なもの
が当たり前に使用されてい
ますが、大会ではそうではな
いものが多く、マスタの拭き
取りなどで手間取るなど、時
間配分が難しかったです。

—— ブラジルという遠い
土地での開催でしたが、実際
に行ってみた感想は？

三谷 技能五輪は、国家レベ
ルの大きなイベントなのだ
と感じました。多くのポラン
ティアの方に支えられた運
営や小学校を訪れての国際

交流は刺激的でした。ただ、
デモや交通事情など競技以
外のアクシデントにも気を
つけなければならぬ点は
大変でした。

また他の出場国では、技能
五輪を国全体でバックアッ
プしているようでした。日本
は「ものづくり」の国として
有名なもので、もっと若い人
ちがたくさん参加できる好
くみがあれば、入賞者が絶対
に増えるのにも思いました。

—— 今後参加される方に
アドバイスするとしたら？

三谷 いくら練習してい
ても、本番のハブニングはあり
ます。それを減点されないよ
うに加算するには、意志を伝
える努力をする必要がある
と思います。また、やはりそ
の場の判断で、練習とは違う

動きになる場面も多いです
が、いかにクライアントさん
に不快な思いをさせず、かつ
美しく飾れるかを意識する
ことも大切だと感じました。

—— 銀賞と発表された時
の感想は？ また今後の新し
い夢は？



三谷 発表時は本当に嬉し
かったと同時に優勝できな
かったことがぐちゃぐちゃ
です。後になって、世界で一
番になって安心してしま
うと思えたので、今は良かっ
たなと感じています。

また最初に、笑顔と感謝を
伝えることをアドバイスし
ただいたのですが、本当にそ
の通りでした。私は英語が話
せないのですが、それでもエ
ステティクを通して、「つな
がっている」「伝わっている」
と感じられたのが何より嬉
しかったです。もっとコミュニ
ケーションでできるよう、今
後はオーストラリアで英語
も学び、自分なりに道を探
して、いきたいと思っています。

Pick
Up!

技能五輪 こぼれ話



※競技会場内レストラン



競技会場に臨時で設置された選手、
審査や大会運営関係者のレストラ
ンの様子。大会中おおよそ70万食が
用意され、各国の食文化に合わせた
食材の選択は可能であり、もちろん
ハラル認定食も用意されている。



※学生の見学ツアー

サンパウロ市内の学生
の見学ツアーの様子。
土曜日は大勢の学生の
見学があり、将来の
なりたい職業選びに
表情も真剣。